

しょう3 こくご「ことわざ」 その3

なまえ _____ がつ にち てん _____ / 20

1 「何^{なんど}度も聞^きくより一^{いち}ど見る^みほうがよくわかる」という意味^{いみ}のことわざは？

ア 百^{ひゃくぶん}聞^{いっけん}は一見^{いっけん}にしかず イ ぜんはいそげ ウ ころばぬ先^{さき}のつえ

エ あたまかくしてしりかくさず こたえ _____

2 「か^{かわ}っぱの川^{かわ}ながれ」の意味^{いみ}にいちばん近^{ちか}いのは？

ア 川^{かわ}はあぶない イ 水^{みず}あそびはたのしい ウ かっぱはおよげない

エ めいじんでもしっぱいすることがある こたえ _____

3 「犬^{いぬ}とさるのなか」はどんななかのこと？

ア とてもなかがよいこと イ とてもなかがわるいこと ウ 大^{おお}のなかよし

エ どうでもよいなか こたえ _____

4 「石^{いし}の上^{うへ}にも三^{さんねん}年^{ねん}」の意味^{いみ}にいちばん近^{ちか}いのは？

ア 石^{いし}はとてもかたい イ 石^{いし}の上^{うへ}はつめたい ウ がまんしてつづければいつかむくわれる

エ 三^{さんねん}年^{ねん}たてばわすれる こたえ _____

5 「二^{にと}兎^とをおう者^{もの}は一^{いっ}兎^とをも()」。()に入^{はい}ることばは？

ア かう イ える ウ えす エ にがす こたえ _____

6 「念^{ねん}には()を入^いれよ」。よくたしかめよ、の意味^{いみ}。()は？

ア 気^き イ 力^{ちから} ウ 念^{ねん} エ 手^て こたえ _____

7 「せんりの道^{みち}も()から」。()に入^{はい}ることばは？

ア 十^{じゅう}歩^ぽ イ 近^{ちかみち}道^{みち} ウ おわり エ 一^{いっ}歩^ぽ こたえ _____

8 「大^{おお}きなこ^こともさいしょの一^{いっ}歩^ぽからはじまる」という意味^{いみ}のことわざは？

ア ころばぬ先^{さき}のつえ イ 百^{ひゃくぶん}聞^{いっけん}は一見^{いっけん}にしかず ウ せんりの道^{みち}も一^{いっ}歩^ぽから

エ 一^{いち}を聞^きいて十^{じゅう}を知^しる こたえ _____

9 「とても なかが わるい」という ^{いみ}意味の ことわざは？

ア ちりも つもれば ^{やま}山と なる イ ^{みっか}三日 ぼうず ウ あたま かくして しり かくさず

エ ^{いぬ}犬と さるの なか こたえ _____

10 「うまの ^{みみ}耳に ()」。いくら ^い言っても ききめが ない こと。()は？

ア えさ イ ^{ねんぶつ}ねんぶつ ウ おと エ ^{みず}みず こたえ _____

11 「うその つもりが ほんとうに なる」という ^{いみ}意味の ことわざは？

ア ^{あめふ}雨 降って ^じ地かたまる イ ^{なか}いの中の ^{たいかい}かわず 大海を しらず ウ ^{やま}ちりも つもれば 山と なる

エ ^でうそから 出た まこと こたえ _____

12 「たつ ^{とり}鳥 ()を に ^たごさず」。立ち ^さ去る ときは あとを きれいに する。()は？

ア ^{みず}みず イ ^{そら}そら ウ ^{まえ}まえ エ ^{あと}あと こたえ _____

13 「時間 ^{じかん}は お金 ^{かね}と 同じくらい ^{おな}大切だ」という ^{いみ}意味の ことわざは？

ア ^{なか}たなから ^{たいかい}ぼたもち イ ^{なか}いの中の ^{たいかい}かわず 大海を しらず ウ ^{とき}時は ^{かね}金なり

エ あたま かくして しり かくさず こたえ _____

14 「子 ^こは おやに にる」という ^{いみ}意味の ことわざは？

ア ^{ごう}ごうに いっては ^{ごう}ごうに したがえ イ ^こかえるの 子は かえる ウ ^きさるも 木から おちる

エ ^{さき}ころばぬ 先の つえ こたえ _____

15 「犬 ^{いぬ}も ^{ある}歩けば ()に あたる」。何か ^{なに}すれば ^{おも}思わぬ ことに ^で出あう。()は？

ア ^{ほね}ほね イ ^{みず}みず ウ ^{ぼう}ぼう エ ^{とり}とり こたえ _____

16 「七 ^{なな}ころび ()おき」。何度 ^{なんど}し ^たっぱいしても ^あ立ち上がる こと。()に ^{はい}入る ^{かず}数は？

ア ^{はち}ハ イ ^{じゅう}十 ウ ^ご五 エ ^{さん}三 こたえ _____

17 「よく ^てばると ^{はい}どちらも ^{いみ}手に 入らない」という 意味の ことわざは？

ア ^{ひゃくぶん}百 聞は ^{いっけん}一 見に しかず イ ^{とり}たつ 鳥 ^にあとを ^{もの}に ^{いっと}ごさず ウ ^に二 兎を ^{もの}おう 者は ^{いっと}一 兎を も えす

エ ^{いち}一を ^き聞いて ^{じゅう}十を ^し知る こたえ _____

18 「その土地^{とち}のやり方^{かた}にあわせる」という意味^{いみ}のことわざは？
ア いそがばまわれ イ あたまかくしてしりかくさず ウ ねこにこばん
エ ごうにいつてはごうにしたがえ こたえ _____

19 「おさないときのくせはなかなか^{いみ}なおらない」という意味^{いみ}のことわざは？
ア 花^{はな}よりだんご イ いの中^{なか}のかわず^{たいかい}大海^{ひやくぶん}をしらず ウ 百^{いっけん}聞^{いっけん}は一見^{いっけん}にしかず
エ すずめ^{ひやく}百^{ひやく}までおどりわすれず こたえ _____

20 「なきつつらに()」。わるいことがかさなること。()は？
ア ゆき イ あめ ウ かぜ エ はち こたえ _____

こたえ しょう3 こくご「ことわざ」 その3

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1 ア 百聞は一見にしかず | 11 エ うそから 出た まこと |
| 2 エ めいじんでも しっぱいする ことがある | 12 エ あと |
| 3 イ とても なかが わるい こと | 13 ウ 時は 金なり |
| 4 ウ がまんして つづけられ ば いつか むくわれる | 14 イ かえるの子は かえる |
| 5 ウ えす | 15 ウ ぼう |
| 6 ウ 念 | 16 ア ハ |
| 7 エ 一歩 | 17 ウ 二兎を おう者は 一兎をも えす |
| 8 ウ せんりの 道も 一歩から | 18 エ ごうに いっては ごうに したがえ |
| 9 エ 犬と さるの なか | 19 エ すずめ百まで おどり わすれず |
| 10 イ ねんぶつ | 20 エ はち |